

事業番号	09 04 07	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	S25 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

日本国内において、家畜伝染病である豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの発生が続いている。 また、中国や韓国等の近隣国では口蹄疫やアフリカ豚熱が発生しており、国内への侵入リスクが高まっている状況である。 このため、感染状況の監視や飼養衛生管理基準の遵守を徹底する等により、疾病の発生予防及びまん延防止を図る必要がある。

2 事業目的

家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。
--

3 事業目的を達成するための取組

①伝染性疾病的発生予防及びまん延防止	
・監視伝染病の検査を実施（鳥インフルエンザのモニタリング検査等） ・家畜防疫員による飼養衛生管理基準の遵守状況を確認するための農場立入検査	
②家畜伝染病の発生時を想定した危機管理体制の強化	
・防疫演習の実施	
③豚熱対策の実施	
・飼養豚等への豚熱ワクチン接種 ・免疫付与状況等確認検査 ・野生いのししの豚熱感染確認検査	豚熱ワクチン接種 

4 成果指標

（推移の凡例 ♯：改善 ♭：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	6 疾病（告示対象）の監視伝染病検査実施率	%	100	100	→	100	→	100	達成	家畜伝染病予防法に基づき伝染病のまん延防止のため設定
②	防疫演習の実施地域数	地域	10	10	→	10	→	10	達成	緊急時の迅速な対応を可能とするため、県内全地域での実施を目標とする
③	飼養豚等への豚熱ワクチン接種率	%	100	100	→	100	→	100	達成	豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、飼養豚等への豚熱感染を予防するため、接種対象を全ての飼養豚等に設定

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)	うち一般財源		
R6年度	102,416	407,585	△ 6,629	503,372	146,477	228,867	62.8
R5年度	0	278,961	△ 7,306	271,655	116,169	121,831	62.8
R4年度	0	175,252	△ 9,115	166,137	59,089	146,322	62.8

事業番号	09 04 07	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

7 主な取組実績と成果

①伝染性疾病の発生予防及びまん延防止

- ・鳥インフルエンザのモニタリング検査の対象鶏について検査を実施し、県内への侵入状況を監視した（延べ122戸1,220羽全て陰性）。
- ・家畜防疫員による農場立入検査を641戸で実施し、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認と指導を行い、家畜伝染病の発生予防を図った。

②家畜伝染病の発生時を想定した危機管理体制の強化

- ・各地域振興局主催の防疫演習を実施し、家畜伝染病の発生時の対応を確認した。
- ・農政部主催の防疫演習（野生いのししにおけるアフリカ豚熱）を実施し、市町村や猟友会、県林務部等関係機関と意識の共有を図った。

防疫演習



③豚熱対策の実施

- ・全ての飼養豚等（延べ122,084頭）へ豚熱ワクチンを接種した。また、ワクチン接種豚の免疫付与状況等確認検査により抗体陽性率80%以上（通年80.3%）を確認し、豚熱の発生予防が図られた。
- ・野生いのししの感染確認検査（検査頭数940頭、陽性52頭）を行い、感染状況の監視を強化した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	6 疾病（告示対象）の監視伝染病検査実施率	R5年度推移	→	R6年度推移	→	達成状況	達成
計画的な実施により、対象とする全ての農場で該当の監視伝染病検査を達成。							
指標 ②	防疫演習の実施地域数	R5年度推移	→	R6年度推移	→	達成状況	達成
家畜伝染病発生時に現地対策本部となる各地域振興局が、有事の想定スケジュールに基づき、具体的な連絡・対応内容を確認し、各々のテーマを決めた防疫演習の実施を達成。							
指標 ③	飼養豚等への豚熱ワクチン接種率	R5年度推移	→	R6年度推移	→	達成状況	達成
計画的な実施により、全ての飼養豚等への豚熱ワクチン接種を達成。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和 6 年度は県内において特定家畜伝染病の発生は無かったものの、近隣県での発生が見られることから、引き続き発生予防対策の強化が必要である。
- ・実際の特定家畜伝染病発生時には、防疫作業員動員のための県下全域の連携と、現地における防疫作業が行われるため、これを想定した防疫演習が必要である。一方で、本県では令和元年を最後に特定家畜伝染病の発生がなく、ノウハウの蓄積に課題がある。
- ・特定家畜伝染病が多発または大規模農場で発生した場合、多数の職員動員により、行政事務の停滞や職員の過負荷が懸念される。
- ・豚熱の発生を未然に防ぐため、ワクチン接種を効率的に進めていく必要がある。
- ・県内における公務員獣医師含む産業動物獣医師の減少と高齢化が深刻であり、獣医療体制整備のため確実な人材確保が必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・農場への飼養衛生管理基準の遵守指導等、引き続き発生予防対策を実施する。
- ・防疫演習では、新たに民間事業者を活用した防疫対応研修会を実施する。
- ・防疫体制強化のため、他県での支援実績が豊富な民間事業者のノウハウを活用するとともに、発生時には人材も活用できる体制を構築する取り組みを実施する。
- ・令和 5 年度から登録飼養衛生管理者（農場従業員等）によるワクチン接種制度を施行した。登録飼養衛生管理者が適切に豚熱ワクチン接種を行い、抗体陽性率80%以上を維持する体制を継続する。
- ・獣医師育成・確保のため、獣医学生に対する修学援助及び県内就職を促す取り組みを実施する。

事業番号	09 04 07	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	家畜衛生対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	家畜衛生対策事業		146,322 千円	121,831 千円	228,867 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	家畜保健衛生所運営費	直接	家畜保健衛生所の適正な運営・管理を実施 県内5家保の運営		
2	家畜伝染病予防事業	直接	家畜伝染病の発生及びまん延防止のため、監視伝染病の検査及び農場立入検査を実施 6疾病（告示対象）の監視伝染病の検査及び641戸の農場立入検査を実施		
3	家畜衛生対策事業	直接	特定家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を実施 10地域で防疫演習を実施		
4	豚熱対策事業	直接	・県内の全ての飼養豚等へのワクチン接種及びワクチン接種豚の免疫付与状況等確認検査を実施 ・野生いのしし感染確認検査による監視強化を実施 飼養豚等へのワクチン接種を100%実施、年間940頭の野生いのしし検査を実施		
5	特定家畜伝染病緊急防疫対策事業	直接	特定家畜伝染病発生時に迅速な防疫措置を実施 特定家畜伝染病の発生なし		